



第3回  
ダイバーショナルセラピー  
実践発表全国大会  
2024・大阪

2024年 9月 7日 (土)

主催：NPO 法人日本ダイバーショナルセラピー協会



第3回

ダイバージョナルセラピー

実践発表全国大会 2024・大阪

## プログラム

---

13：00 開会の挨拶 田附 潤一 理事・事務局長

---

13：05 そもそもDTとは？ ～国内外の最新情報～  
芹澤 隆子 DTAJ 理事長

休憩 10分

---

14：00 <実践発表 4 題> 各発表 12分、質疑応答 12分  
山村 幸恵、佐々木 浩二・東出 由起子、  
矢萩 弘美・山本 裕、上井戸 久美香

---

15：00 休憩 5分

---

15：05 <実践発表 3 題> 各発表 12分、質疑応答 9分  
自見 希望、邊見 悦子、藤重 貴子・濱崎 有由美

---

15：50 休憩 5分

---

15：55 <実践発表 3 題> 各発表 12分、質疑応答 9分  
千葉 彩華、小野 努、草薙 和枝・菅野 博美

---

16：40 投票・休憩 5分

---

16：45 表彰・総評・感想

---

17：00 終了

---



## 私たちが創るダイバーショナルセラピー ～HAPPYを散りばめよう～

氏名：山村 幸恵 / DTW 第19期生

所属：社会福祉法人 愛鍼福祉会 特別養護老人ホームゴールデンレイク（宮崎県）

職種・資格等：介護福祉士

### DTポイント（着眼点）

- ・チョイスのある活動
- ・その人らしさと尊厳
- ・繋がり（退屈・孤立感からの解放）
- ・五感の記憶と個人の Capoftea の再発見
- ・生きていることを感じる

### DTストーリー（内容）

#### 1. 背景・目的

2020年春を境に新型コロナウイルスの影響により対面はオンラインに。距離を保つ日々はライフスタイルや社会との繋がりまでも変化させた。更に、少子高齢化の影響で介護現場では人手不足が深刻化している現状がある。その一方で、ご利用者は取り残され諦めた気持ちで生活を送り、私たちは心に持っている楽しむことを表出するチャンスを失い、楽しむ感性を忘れてかけていた。ダイバーショナルセラピーとの出会いにより施設全体でDTを意識しHAPPYの方向を目指した実践報告である。

#### 2. レジャー探しと実践

- ・DTW 受講と委員会の発足
- ・【外出・外食・故郷訪問・釣りクラブ・外泊支援】
- ・【CONNE カフェ・パン・料理教室・No 制服 Day・フレーグ】
- ・活動計画書の変更
- ・DT 導入施設訪問
- ・新人職員研修

### 成果と課題

委員会発足当初「入浴を優先したいが、DT活動により入浴人員が確保できない。」など消極的意見が多く聞かれ、DTに対する熱量の差を感じた。

同建物内にあるデイサービスはレクリエーションや遊び心が定着しているので、楽しい雰囲気やDTのヒントを得るため職員の交換交流を試行的に実施。レジャー活動時間や内容は委員会で随時検討しながら実施した。利用者間交流を目的にしたCONNE（こんね）カフェ・パン教室をスタート。感染予防対策により事業所間交流が難しい時期にも直面したが、月1開催で継続している。また、当施設では、初のホテル外泊支援に成功した。支援内容はホテルの事前調査や家族への介護技術指導など、多職種でサポートを可能にした。新人研修においては、DTを意識しながらグッドフィードリングポスターを作成。今までになかった新しい形で楽しく職員交流を行うことができた。現在、DTマインドを職員に定着させるため、DTのねらいや共通目的を可視化した計画書に変更し活動している。取り組み当初のような消極的意見は減少しているが、ゼロとは言えない。今後、DTマインドの定着を加速させるためには、DTWが軸となり、日常の中で楽しいことを創造していくことが必要である。何より、私たちが一緒に楽しむことで職員の意識は変わり推進力が高まると考える。

DT取り組み開始より1年が経過したが、更にHAPPYの方向へ舵を進めるため、HAPPYを散りばめ沢山のHAPPYを創り続けたい。



## 自己実現 やれば 出来る !!

氏名：佐々木 浩二・東出 由起子 / DTW 第 16・11 期生  
所属：株) おいらーく 小規模多機能型居宅介護事業所えくぼ (北海道)  
職種・資格等：介護福祉士、管理者

### DTポイント (着眼点)

利用者のやりたい想いと出来ない気持ちで葛藤している部分にフォーカスし、多職種で関わりを持つことで自信に繋げ、実現していく。

### DTストーリー (内容)

- ①昔行っていたパークゴルフに行きたい。 ②ゴルフクラブを見てみると・・・  
③訪問リハビリによる練習を開始 ④ゴルフ場に出発～♪ ⑤「また行きたいね」 ⑥そして・・・

### 成果と課題

意欲が高まることにより日常生活にも変化が現れたこと  
日々の小さな取組みから継続して行うことで ADL の維持、向上に繋がった。



## DT は日々の中にある

氏名：矢萩 弘美・山本 裕 / DTW 第 17・16 期生  
所属：特別養護老人ホーム 逗子杜の郷 (神奈川県逗子市)  
職種・資格等：介護福祉士

### DTポイント (着眼点)

- ・懐かしい感情を引き出す
- ・明日への活力・今からやりたいこと・楽しみたいことを実現する・心からの笑顔

### DTストーリー (内容)

施設において個人、集団に対しての DT を実施することでご利用者様・スタッフが同じ目標に向かって毎日楽しく過ごし達成した時の最高の笑顔をみんなで感じる事が出来るようになった。数々の DT 活動の実施状況と成果、その後の評価を発表していく。  
DT 開始から根付くまでの過程・現実・苦労を含め、実際に楽しめることができるまでの道のりを伝えていきたい。

### 成果と課題

習字クラブ、喫茶、キャバックは楽しめる方、そうでない方がいます。課題としては動けない、話せない方が明日への活力を上げるにはどうしたらいいのかを考え、実行することです。個別の DT では実施してみて家族、施設の協力が大切だと実感しました。成果としては職員と利用者、職員と家族の絆が深まったと思います。課題は全員の個別 DT を実施していきたい。



## だもんで訪問看護で DT を！

氏名：上井戸 久美香 / DTW 第 17 期生  
所属：ハピリス訪問看護リハビリステーション（愛知県）  
職種・資格等：看護師

### DTポイント（着眼点）

訪問看護師として働き、在宅では、利用者や家族と関わる中で本人が何かがお好きで、どんな人生を送ってきたのかという話をじっくり伺うことができる。あなたを知りたいのですという気持ちでお聞きすることで情報収集ではなくセラピーとなる。しかし、本人や介護者の状況により、外出もできずこもりきりになってしまい季節も感じられなくなることを感じた。利用者の好きなことや生活歴など家族からお聞きしひとりひとりにあった DT を考え、家族にも参加していただき DT を行った。

### DTストーリー（内容）

住み慣れた自宅という環境での本人、家族の希望での在宅介護であっても不安や慣れない介護などにより、本人が楽しむ、その人らしく過ごすところにたどりつけないことがある。お名前の呼び方にして本人の呼ばれたい呼び方があり、その呼び方でお呼びすると反応が良かった。

常に介護が必要な方でも、ドールセラピーではなんとか泣き止ませようとあやされ、優しい表情や仕草が見られた。

いつも目を閉じている方が DT で感覚を刺激する事で、目を見開いて驚いたり、りんごに齧り付いたりと能動的に動かれ、見ている私たちを驚かせた。

### 成果と課題

DT を行うことで、いつもは目を閉じていることが多い利用者が笑ったり、驚きの表情をみせてくれるなど反応が見られた。

家族も一緒に楽しまれ、本人の表情の変化を喜ばれており、それはスタッフも同様にモチベーションが上がることとなった。

訪問看護や訪問リハビリで DT を行うことは、認知症を伴う方や高齢者だけでなく難病や末期の方など、さまざまな方の楽しむことや、やりたいことを叶えられる可能性がある。

現在の制度では楽しむことややりたいことへの支援が充分でないと感じるが、いつか楽しむことがあたりまえになる社会になるといいと考える。



## ダイバーショナルセラピーを用いた楽しみの提供

氏名：自見 希望 / DTW 第 18 期生

所属：社会医療法人社団 正峰会 さんなん桜の里（兵庫県丹波市）

職種・資格等：看護師

### DTポイント（着眼点）

- ・過去に作っていた。・やり方は、利用者のやり方で行う
- ・本物を使用して五感を刺激する

### DTストーリー（内容）

利用者が、昔、「家でよく漬けていた」という梅をテーマにしました。梅にふれ、梅の香りを感じ、梅にまつわることを思い出す時間になってほしい。「できる。できた!」と達成感を感じてほしいと考えました。試飲まですることで、プロセスを楽しめるように利用者の方法で行ってもらえるように配慮しました。

#### 【事前準備】

- ①梅で何を作ってたか情報を収集し、参加の意思を確認した
- ②梅シロップ作りをすることを個別に職員にも声をかけ、時間の調整を行った
- ③ポスターを作成

#### 【梅シロップ作り】（30分×2回 実施）

参加職種：DTW、介護士、管理栄養士、歯科衛生士、相談員

- ①梅と氷、瓶を準備する
- ②梅を拭く、爪楊枝で刺す、瓶に入れる作業をする（利用者にチョイスしてもらう）
- ③利用者のペースで進むように、下処理の仕方を教わりながら職員も行う
- ④梅と氷砂糖を瓶に入れる

#### 【2週間ほど梅をつける】（参加職種：DTW、介護士）

- ①梅のつかり具合を確認し、必要時はゆする。（梅の置き場所は、2人がいつも見る場所に）  
1日1回は観察し、氷が溶けだしたら梅の瓶をゆする

#### 【梅の取り出し】（参加職種：DTW、看護師、介護士）

- ①梅を取り出す時期を利用者に確認
- ②お玉、お皿を準備し実施
- ③梅シロップをどうやって飲むか利用者と話し合い

#### 【試飲・試食】（参加職種：DTW、介護士、セラピスト、栄養士、相談員）

- ・「かき氷と梅シロップの会」を企画
- ・かき氷と梅シロップが今日のおやつであることをお伝えし、梅シロップを作ったので、試飲してもらえ  
ることやかき氷を提供することを利用者全体にお伝えした。
- ・かき氷は、目の前で、昔ながらの機械を使用しなつかしさを感じて頂けるようにした。
- ・かき氷の味、量、梅シロップを水で割るか炭酸でチョイスしてもらった。
- ・参加してもらったことに感謝し終わりのあいさつで終了した。

## 成果と課題

---

### 「成果」

利用者のニーズにアプローチした結果、継続した参加意欲がみられ「梅シロップを作る」という目的ができた。約1か月かけて、継続して梅シロップ作りに関わることで、利用者は、「やりたい」「楽しい」といきいきとした様子になった。梅シロップを作る過程は、ただの作業ではなく、生活に活気が加わることで、自発性、社会性が表出された。自己選択、自己決定の機会は、意欲の向上につながったことが成果としてあげられる。また、職員が、楽しみの提供を継続できた理由は、意味のある楽しさを提供することで、利用者の反応にやりがいや嬉しさを感じたことがあげられる。ダイバーショナルセラピーでは、人とのつながりや感情を共有する時間を得ることができることから、多職種での楽しみの視点の共有や楽しみの提供の重要性を感じた。

### 「課題」

利用者のニーズを把握し、継続して施設生活で意味のある楽しさを提供するためには、ダイバーショナルセラピーの実践と職員を巻き込む工夫が今後の課題となる。職員が目的を共有し、積極的に参加できる環境を整えることで、ダイバーショナルセラピーの必要性や楽しさが伝播していくように、楽しみの提供を継続していく。



## おはようございます！ ～目を開けると「可愛い」が待っている～

氏名：邊見 悦子 / DTW 第 11 期生

所属：医療法人北翔会 介護老人保健施設 豊平北翔館豊翔の郷（北海道）

職種・資格等：介護福祉士

### DTポイント（着眼点）

他ユニットから移動してきた A さんはリハビリや食事、おやつ以外の時間以外は臥床時間が多く、レクにもあまり参加されない状態でした。そこで何かレク以外で A さんの生活に楽しみな事が出来ないか考えることにしました。各ユニットではコロナ禍ということもあり外へ出られない利用者にせめて季節感を感じて頂こうと、季節の装飾をしています。

A さんがいるユニットでも壁面やアクリル板装飾をしていたのを見て、装飾に興味はあるようでしたが、一緒に作ろうと誘っても「寝てるわ」と話されていました。そこで A さんに関わりながら好きなものを探り、そこから何かアプローチ出来る事が無いか考えました。

### DTストーリー（内容）

A さんと話していく内に、カワイイ物が好きということが分かりました。私は壁面装飾が趣味なのでそれを活かして視覚的なアプローチで楽しみを作ろうと決め、ユニットリーダーに相談しました。場所は臥床していても見る機会がある A さんの居室前廊下の壁にしました。季節を取り入れたカワイイ壁面装飾を作り、それを飾る時に声を掛け、飾る所から見て頂き「何が出来るんだろう」のワクワク感を感じてもらい、完成したのを見て「わあかわいいね!いいね!」と喜んでくれました。

### 成果と課題

数日後 A さんから「朝起きるとね、あのカワイイのが見れると思って起きるの。楽しみなんだよね。早くドア開かないかなって」「日中はいつ目を開けても見れるから良いね」と感想をくださいました。それからも継続していましたが、他利用者が「何作ってるの?私も作りたい」と話され、一緒に作り、出来た物を飾りに行くという時間も自然に出来上がり、それを見て A さん自ら職員に装飾を渡すという形で、壁面飾りに参加されるようになりました。他の利用者からも「私ね、この飾りを見てから部屋に帰るの」と話してくれたり、最初は個人へのアプローチでしたが、利用者全体へ広がった「楽しみ」を作ることが出来ました。様々な得意を活かして頂きながら利用者と一緒に何かを作り、やがて楽しみになって行くことを学びました。今私は異動してしまったのですが、この取り組みを職員が引き継いでくれたので、カワイイ世界を広げていってくれているのではないかと思います。そして異動したユニットでも何かアプローチできたらと思います



## 笑いの中に愛がある

氏名：藤重 貴子・濱崎 有由美 / DTW 第 6・14 期生  
所属：のんびり村今津（山口県岩国市）  
職種・資格等：介護福祉士

### DTポイント（着眼点）

ここ数年のコロナ禍で様々な制約があったが、  
月一のソナス(SONAS)セッション実施を目標として楽しく活動してきた。

### DTストーリー（内容）

コロナ禍に実施した月一の活動報告と、その中でも特に印象に残った  
「終戦記念日&お墓参り・コロナクラスター・看取り」

### 成果と課題

コロナ禍であったが、月一のセッションを実施出来たこと、「私達の思いと入居者様の思いが必ずしも同じではない」ということにも気づき、もっとしっかりアセスメントをしていくことが必要だと実感した。



## あなたの好きなものは何ですか？～グッドフィーリングポスターを作ろう～

氏名：千葉 彩華 / DTW 第 19 期生  
所属：介護老人保健施設 リハビリ南東北川俣（福島県）  
職種・資格等：介護福祉士

### DTポイント（着眼点）

出勤時は目を合わせ、握手をして挨拶し本人との信頼関係を築いた。本人の落ち着きがなくなる時間帯に得意のカメラを提供した。

### DTストーリー（内容）

入所者 S.K さんは退屈な時間ができると、ちょっと家に行ってくるという話から始まり、精神面で不安が大きくなると転倒や転落のリスクが高くなる。日々の中でアセスメントをし、落ち着かなくなってくる時間帯と一緒にグッドフィーリングポスターを作成していく。

### 成果と課題

挨拶や本人の話を傾聴することで、信頼関係を気付くことができ、本人の好きなこと好きなものを提供することで不安な気持ちになる時間を減らすことができた。  
ポスター作成後、すぐに退所されてしまったため継続しての DT は行うことが出来なかったが、職員の対応には差があるため、統一した対応を行うことが課題であると考えた。



## DTセッション（秋を感じよう）

氏名：小野 努 / DTW 第19期生

所属：介護老人保健施設 ケアセンター赤とんぼ（熊本県）

職種・資格等：介護福祉士

### DTポイント（着眼点）

「秋」をテーマに実物の落ち葉やゆず、柿、さつま芋、ススキを準備して見て触れることで秋を感じ五感を刺激することを目的とした。また参加者の中に農家出身であり「お米がとても好きだった」という方がおられたので、その生活歴にフォーカスし、秋の新米を実際に炊いて鮭、梅、昆布からチョイスしていただき参加者全員でおにぎりを作り食した。

### DTストーリー（内容）

まずは職員、利用者ともに自己紹介から入り、コミュニケーションをとった上でセッションを開始した。秋をテーマに当時何を歌っていたのか振り返りを行うことで、自然と参加者の方から自発的に歌うという流れを引き出すことができた。また、ゆずや柿などの実際の物を使用することで季節感を演出することができた。子供の頃のエピソードを語られる方もおられ、聞いている方も思い出に浸っている様子であった。次にオクタバンドを使用したセッションに移り落ち葉を歌に合わせて宙に舞わせてみたところ、たくさんの歓声が上がって終始盛り上がりを見せた。最後に秋の新米を炊き参加者に炊き立てを見せて回ると、「きれいねー」「よか匂いがする」などの反応があった。

### 成果と課題

秋をテーマに実物を使用することにより、季節を感じるとともに五感を刺激することに成功した。参加者の中には普段から活動参加されず反応がうすい方もおられたが、オクタバンドでのセッション時に宙に舞う落ち葉をみて、今まで見たことがないほどに目を見開かれていたことが印象に残っている。今回は活動参加に積極的な方達ばかりではなくあえて普段参加されない方をメンバーに入れてみたが、良い反応を得る事ができた。活動参加に拒否が見られる方への取り組みが今後の課題だが、直接参加されずともそこにいるだけで意味のあるものになると今回のセッションで感じる事ができた。



## うめ俳句クラブ ～展望～

氏名：草薙 和枝・菅野 博美 / DTW 第 19 期生  
所属：通所リハビリ梅ヶ丘（東京都）  
職種・資格等：介護福祉士・作業療法士

### DTポイント（着眼点）

- ・レジャー・ライフスタイル・チョイス・コミュニケーションの全てを併せ持ったクラブ活動の展開
- ・利用者達で、自主的に行えるレクリエーションであること

### DTストーリー（内容）

通所リハビリ梅ヶ丘では、利用者の1日の活動の中にレクリエーションの時間を設けている。しかし、レクリエーションに対する知識不足や人員不足により、効果的なレクリエーションを展開できない日々が続いていた。

ある時、利用者同士が自作の俳句をお互いに読み合い、笑顔が満ち溢れとても楽しそうに過ごされていた。同じ頃、芹澤先生による DT 講演会が開催され、DT の素晴らしさを知り、「うめ俳句クラブ」を発足させた。

今回の全国大会では、「うめ俳句クラブ」の活動報告と、今後の展望などについて報告する。また、他事業所でも広がりつつある DT 活動についても触れる。

### 成果と課題

（成果）

- ・2023年に「うめ俳句クラブ」が発足してから1年以上、活動が継続出来ている
- ・2024年度に向けて掲げた課題について、順調に取り組み成果をあげている。
- ・当センターでは DT ワーカーが2名在籍しており、DT の考えに基づいたレクリエーション活動をセンター内で広めている。

（課題）

- ・多事業所・多職種で DT の意味や素晴らしさを共有することが大切である。